

■単元名(題材名)

「さけアルバム」を作って、おうちの人に説明しよう

■本時のねらい

相手に分かりやすく伝えるためには、どのような言葉が必要かについて、考えたり話し合ったりさせることによって、説明文の書き方を理解させ、自分の言葉で説明する文を書くことができるようにする。

■主なICT活用の場面



説明に必要な言葉を書き出す活動でデジタル付箋を活用

さけが大きくなる様子を説明する文を書く活動において、「おうちの人に分かりやすく伝えるために、どのような言葉を入れるとよいか」という課題を設定した。



その課題解決の活動において、説明に必要な言葉(時, 場所, 大きさや様子)をジャムボードに入力させ、ペアで意見交流した。

■活用したアプリ等

指導者用デジタル教科書, デジタルホワイトボードソフト

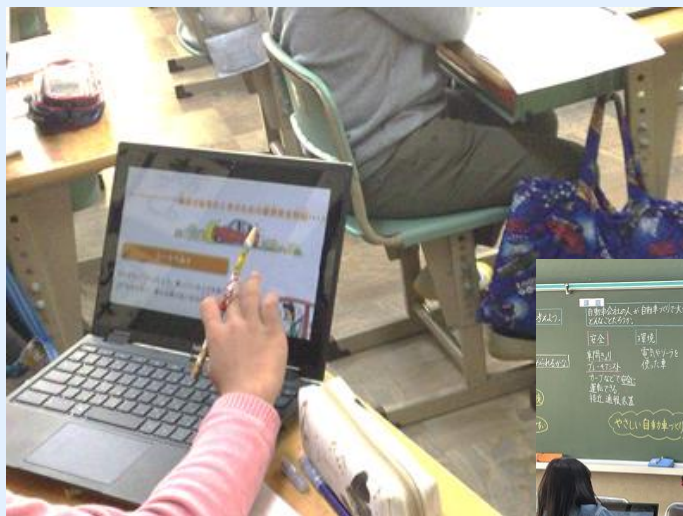
■ 単元名(題材名)

自動車工業のさかんな地域(工業生産とわたしたちの暮らし)

■ 本時のねらい

人に優しい自動車をつくろうという自動車会社の思いを、資料をもとに考えたり、班で考えを交流したりする活動を行うことを通して、自分の言葉でまとめ、表現することができるようにする。

■ 主なICT活用場面



学習支援ソフトで資料を配付し、意見交流の場面でデジタル付箋を活用

学習支援ソフトを使って指導者から送られた複数の資料の中から、自分の予想の根拠となる資料を選択して考察した。



自動車会社の人々が自動車をつくるうえで大切にしていることについて、デジタル付箋を活用し意見交流を行った。デジタルホワイトボードソフトにまとめたものを大型TVに映して発表し、クラスで共有した。

最後に、アンケートフォームで振り返りを行った。

■ 活用したアプリ等

学習支援ソフト、デジタルホワイトボードソフト、アンケートフォーム

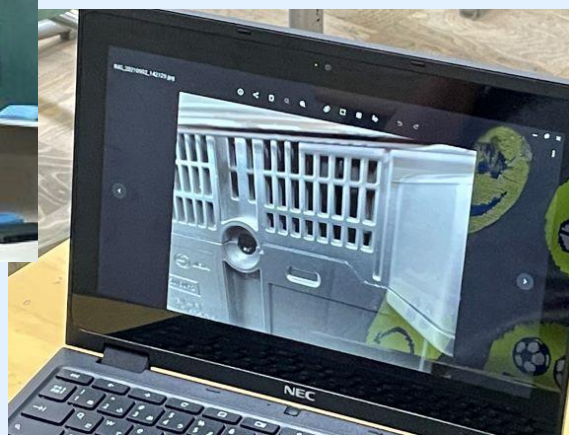
■単元名(題材名)

写真をもとに話そう

■本時のねらい

学校内で撮影した写真をもとに、いちばん伝えたいことをどのようにして伝えたらよいかについて話し合う活動を通して、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるようにする。

■主なICT活用の場面



子どもたちが撮影した写真を活用

子どもたち一人一人が、学校内の様々な写真をカメラで撮影した。その写真をTVモニターに投影し、クイズ形式でクラス全体に向けて発表し、写真から受け取る印象を交流し合った。

カメラ機能を使うことで、拡大・縮小が容易にできる。子どもたちは発表したい内容に適切な資料を提示し、それをもとに話の構成を考えて発表することができた。

■活用したアプリ等

カメラ機能, TVモニター

■単元名(題材名)

自然災害から人々を守る活動

■本時のねらい

日本各地で起きた災害について、調べる活動を通して、地域の関係機関や人々は、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解させる。

■主なICT活用の場面



動画コンテンツを導入の場面で活用

動画コンテンツを導入時に活用した。動画では、過去に日本各地でおきた災害の具体的な映像が見られ、災害が身近でどこでも起こりうるものだと実感させることができた。

■活用したアプリ等

指導者用デジタル教科書, 動画コンテンツ, TVモニタ

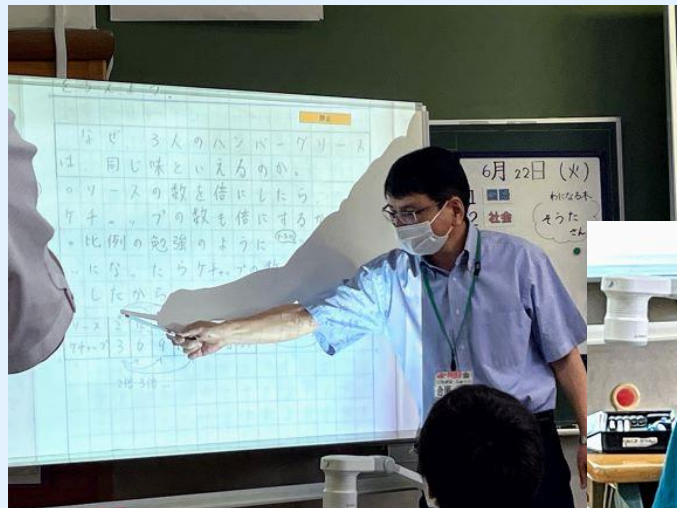
■単元名(題材名)

割合の表し方を調べよう(比)

■本時のねらい

日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察する活動を通して、比を用いた関係の比べ方を既習の割合と関連づけて統合的にとらえ、割合の適用場面で考え方を工夫できるようにする。

■主なICT活用の場面



問題内容を可視化するためにデジタルホワイトボードソフトを活用



デジタルホワイトボードソフトでケチャップとソースの瓶の絵を1枚ずつ貼り付けたものを学習支援ソフトで児童に配付して、同じ味になる理由を考えさせた。何人かの考えを書画カメラで提示して紹介し、考えを出し合った。

最後に、デジタルドリルを利用し、練習問題に取り組んだ。デジタルホワイトボードに書いた考えを共有し、量の関係について、班で交流した。

■活用したアプリ等

デジタルホワイトボードソフト, デジタルドリル, 書画カメラ, プロジェクタ

■ 単元名(題材名)

体のつくりとはたらき

■ 本時のねらい

人体のつくりと働きについて、インターネットで調べたり、人体模型と比べたりすることを通して、体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解させる。

■ 主なICT活用の場面



インターネットの画像検索を調べ学習に活用

人体のつくりについて、内臓を中心にどのようなつくりになっているか、ICT端末の検索機能で調べ、学習プリントにまとめた。

まとめた内容について、人体模型と見比べたり、触ったりしながら実際の人体のつくりについて確認した。

■ 活用したアプリ等

インターネットの画像

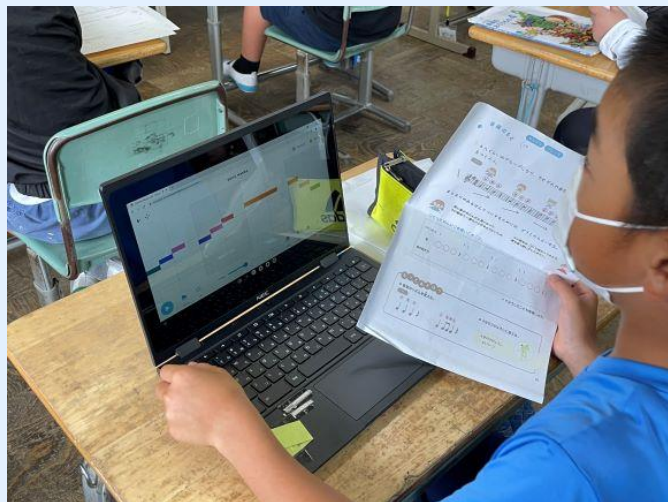
■単元名(題材名)

いろいろな歌の表現を楽しもう

■本時のねらい

ソングメーカーソフトで旋律をつくる活動を通して、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに気付くことができるようにする。

■主なICT活用の場面



ソングメーカーソフトを音楽づくりに活用

旋律をつくる活動の場面において、ICT端末のソングメーカーソフトを活用した。

ソングメーカーソフトは、拍子などを設定し、旋律を入力すると、音階が色分けされるので、旋律を分かりやすく表現することができる。

■活用したアプリ等

ソングメーカーソフト

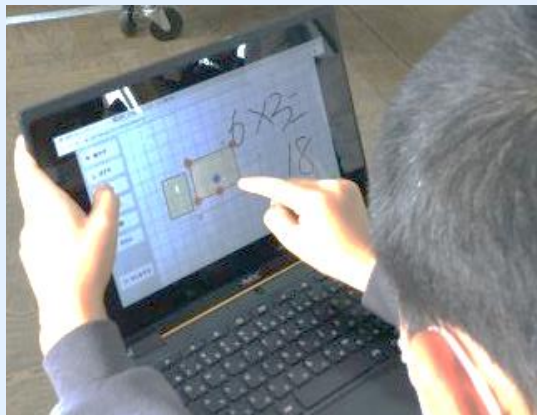
■ 単元名(題材名)

広さの表し方を考えよう

■ 本時のねらい

L字型の形の面積は、長方形の形をもとにして考えれば求められることを、図形を分割したり、補ったり、移動したりすることによって説明できるようにする。

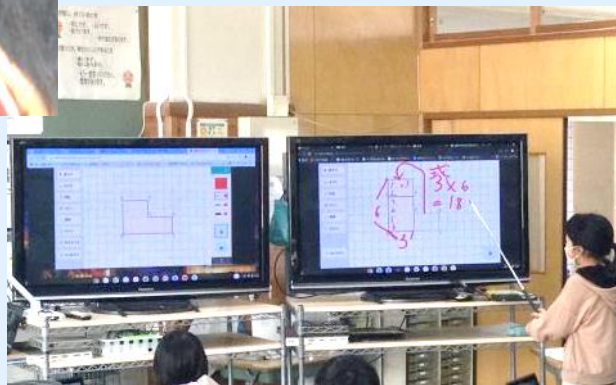
■ 主なICT活用の場面



自分の考えづくりの活動において、デジタルコンテンツを活用

L字型の面積の求め方を考える場面において、デジタル教科書のコンテンツを活用した。

デジタルコンテンツは、図形に線を引いたり、切り貼りしたりする場面で、何度もやり直しができる。子どもたちは図形を動かしながら試行錯誤し、自分の考えをまとめていた。



その後、デジタル付箋を活用し、様々な面積の求め方の共通点について、クラスで意見交流を行った。最後に、アンケートフォームによる振り返り活動に取り組んだ。

■ 活用したアプリ等

デジタルコンテンツ, デジタルホワイトボードソフト(デジタル付箋), アンケートフォーム